扒口廿二	富山高等専門学校		開講年度 令和02年度 (2		2020年度) 授		4目 月	財務会計論 I		
计日型	<b>楚情報</b>									
科目番号 0073					科目区分	専門	門 / 選択	(		
授業形態		授業	授業			単位の種別と単位数 履修単位: 1				
開設学科			1際ビジネス学科			3				
開設期		前期		週時間数						
教科書/教	材		校監修「日商簿記	!検定2級商業簿記·	テキスト」大原出版					
旦当教員	_	長谷川 博								
到達目標	-									
2.固定資產	産,引当金,	,債務保証等,:	各個別論点につい	別論点について, Nて, 十分に理解し ,, 正しく会計処理	,正しく会計処理だ	しく会計処 ができる。 	理ができ	きる。		
<u>ルーブ!</u>	リック									
			理想的な到達レ/	ベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)		(良)	未到達レベルの目安(不可)		
評価項目1			現金預金,債権信 ,有価証券等,名 て,十分に理解し 理ができる。	責務,棚卸資産 各個別論点につい し,正しく会計処	現金預金,債権債務,棚卸資産 ,有価証券等,各個別論点につい て理解し,正しく会計処理ができ る。		現金預金,債権債務,棚卸資産 ,有価証券等,各個別論点についての理解が不十分で,正しく会計 処理ができない。			
評価項目2			固定資産,引当会 ,各個別論点に 解し,正しく会	金,債務保証等 ついて,十分に理 計処理ができる。	固定資産, 引当金, 債務保証等 , 各個別論点について理解し, 正 しく会計処理ができる。		固定資産,引当金,債務保証等,各個別論点についての理解が不十分で,正しく会計処理ができない。			
評価項目:	3		収益と費用,為替で,十分に理解し で,十分に理解し 理ができる。	収益と費用,為替 て理解し,正しく る。	替換算会計( 公計処理)	こつい ができ	収益と費用,為替換算会計についての理解が不十分で,正しく会計 処理ができない。			
学科の3	到達目標工	頁目との関係								
ディプロ	マポリシー	1						-		
教育方:	法等									
既要		本講義で	は,経営活動がど	商簿記検定2級を  のように営まれる  の技術を身につけ	かをふまえながら,	企業の経	のうち <i>の</i> 営活動た	)商業簿記の範 がどのように記	囲を網羅する。 録, 報告されるかを	
受業の進	め方・方法	当科目と連講義を進める	並行して工業会計 るため,進度を極	論を修得し、日商	   簿記検定 2 級を取る   にはいかない。授	导すること 業の進度に	極力つい	ヽてくるように	こ対応できるレベルで 予習復習を行うこと 。	
		1 2級ブ/十つ								
	<b>声</b>	のである。   評価が60	点に満たないもの		追認試験を受ける	ことができ	る。追	忍試験の結果。		
	画	のである。   評価が60  れた者にあ	点に満たないもの っては, その評価	Dは、願い出により	追認試験を受ける 価方法及び評価基	ことができ 準は, 本試	る。追 験と同	忍試験の結果。		
	画	のである。 評価が60 れた者にあっ 週 授	点に満たないもの	Dは、願い出により	追認試験を受ける 価方法及び評価基	ことができ 準は, 本試 週ごとの到	る。追 験と同り J達目標 記さと決	忍試験の結果, ごとする。 算手続き, およ	単位の修得が認めら	
	画	のである。 評価が60 れた者にあ・ 週 授 1週	点に満たないものっては、その評価 業内容 イダンス 記一巡の手続き	Dは、願い出により	追認試験を受ける 価方法及び評価基	ことができ 準は, 本試 週ごとの到 日々の手続 の理解を確	る。追 験と同り は は は に に に こ に こ こ こ こ	忍試験の結果, ごとする。 章手続き, およ	単位の修得が認めら	
	画	のである。 評価が60 れた者にあ・ 週 授 1週 労簿 2週 現	点に満たないもの っては、その評価 業内容 イダンス 記一巡の手続き 金預金	Dは、願い出により	追認試験を受ける 価方法及び評価基	ことができ 準は,本試 週ごとの到 日々の手続 の理解を確 現金およひ。	る。追 験と同	忍試験の結果,	単位の修得が認めら こび財務諸表について い正しく処理ができる	
	画	のである。 評価が60 れた者にあ・ 週 授 1週 第 2週 現 3週 現	点に満たないものっては、その評価 業内容 イダンス 記一巡の手続き	Dは、願い出により	追認試験を受ける価方法及び評価基	ことができ 進は,本試 週ごとの到 日々の理解をお 現金おより 現金 銀行 関係 の 銀行 の 関係 の の は の は の は の は り り り り り り り り り り り	る。追議 験と同じ 別達目標 記さする で預金に クレジ	認試験の結果, ごとする。 算手続き, およっ ついて, 理解し ついて理解し ット売掛金, 営	単位の修得が認めら で財務諸表について し正しく処理ができる。 は業外手形、電子記録	
受業計區	画 1stQ	のである。 評価が60 れた者にあ・ 週 授 1週 類 2週 現 3週 現 4週 債	点に満たないものっては、その評価 業内容 イダンス 記一巡の手続き 金預金	Dは、願い出により	追認試験を受ける価方法及び評価基	ことができば、本試 週ごとの到日の理解の 日の理解をより 現金が、現金の は行動債債債 では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	る。追回  達目標  注きとするに  整表レいいよび   でしている	認試験の結果, ごとする。 算手続き, およっ ついて理解して マット売掛正して ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	営業外手形, 電子記録 (仕訳ができる。 Oいて, ならびに売上	
		のである。 評価が60 れた者にあ・ 週 授 1週 第 2週 現 3週 現 4週 債	点に満たないものっては、その評価 業内容 イダンス 記一巡の手続き 金預金 金預金 権債務	Dは、願い出により	追認試験を受ける価方法及び評価基	ことができません。 週ごとの至いでは、本記の理ないの理ないの理ないの理ないのでである。 銀行を動きでは、またのでである。 銀行を関係である。 銀行を関係である。 銀行を表する。 銀行を表する。 銀行を表する。 は、またできまする。 は、またできます。 は、またできまする。 は、またできまする。 は、またできまする。 は、またできまする。 は、またできまする。 は、またできます。 は、またできまする。 は、またできます。 と、またできます。 と、またでをもでをもでをもでをもでをもでをもでをもでをもでをもでをもでをもでをもでをもで	る。追記 験と同り  達目標 きさする。 が預金に クいて、 がおよいい がほこい	認試験の結果, 章手続き,およっ ついて理解しエット売掛し正と ・理解しまして ・理解しまして ・理解しまにして ・理解しまにして ・ででは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、こ	単位の修得が認めら こで財務諸表について 」正しく処理ができる。 言しく処理ができる。 営業外手形,電子記録 には訳ができる。	
		のである。 評価が60 れた者にあ・ 週 短 1週 現 3週 現 4週 債 5週 棚 6週 有	点に満たないものっては、その評価 業内容 イダンス記一巡の手続き 金預金 金預金 権債務 卸資産	Dは、願い出により	追認試験を受ける価方法及び評価基	ことができません。 週ごとの手を確している。 日の理金お、定の手を確している。 銀行債債の対立をの対している。 はでは、できないできます。 銀行債債の対立による。 はできまする。 はできまする。 はできまする。	る。と	認試験の結果, 章手続き, 理解の ・ 理解金正戻, りて ・ 理明と関して ・ は、して ・ は、 ・ は 、 ・ は 、 ・ は 、 ・ は 、 ・ は 、 ・ は 、 ・ は も は も は も も も も も も も も も も も も も も	単位の修得が認められていています。 という いまま できる はまかま できる はまかま できる はまかま できる いて、ならびに売上 く仕訳ができる。	
受業計區		のである。 評価が60 れた者にあっ 週 1週 授 1週 現 2週 現 4週 債 5週 棚 6週 有	点に満たないものっては、その評価 業内容 イダンス記一巡の手続き 金預金 金預金 権債務 卸資産 価証券	Dは、願い出により	追認試験を受ける価方法及び評価基	ことが、本 図 日の現。 銀債債商原有。 異なる 異なる 異なる 異なる と 異なる と こ の ま の 発 は の 対 証 の 重 の ま の 重 の 重 の 重 の 重 の 重 の 重 の 重 の 重	る。と	認試験の結果, 章手続き, 理解の ・ 理解金正戻, りて ・ 理明と関して ・ は、して ・ は、 ・ は 、 ・ は 、 ・ は 、 ・ は 、 ・ は 、 ・ は 、 ・ は も は も は も も も も も も も も も も も も も も	単位の修得が認めら にび財務諸表について にしく処理ができる。 諸業外手形,電子記録 仕訳ができる。 いて,ならびに売上 く仕訳ができる。 正しく処理ができる。 正しく処理ができる。	
受業計區		のである。 評価が60 れた者にあっ 週 1週 2週 3週 4週 6週 6週 7週 8週 中	点に満たないものっては、その評価 業内容 イダンス 記一巡の手続き 金預金 金預金 権債務 卸資産 価証券	Dは、願い出により	追認試験を受ける価方法及び評価基	こ準は、 週日の現。 銀債債商原有。 異理中の 異理中の 最低でする の手をより は、 の手をより は、 の手をより は、 の手をより は、 の手をより は、 の手をより は、 のする のがはいる には、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	る験   達目とする   と同じ   標 決るに   に ジてびい 目   入る	認試験の結果, 章手続き, およっ では、、 理解しいでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	単位の修得が認めら なが財務諸表について 、正しく処理ができる。 諸業外手形,電子記録 仕訳ができる。 かいて,ならびに売よ く仕訳ができる。 正しく処理ができる。 正しく処理ができる。 正しく処理ができる。	
受業計画		のである。 評価が60 れた者にあっ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 回 回 回 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同	点に満たないものっては、その評価 業内容 イダンス記一巡の手続き 金預金 金預金 権債務 卸資産 価証券 間試験	Dは、願い出により	追認試験を受ける価方法及び評価基	こ準は、 週日の現。 銀債債商原有。 異理 中定が で本の解お、勘債債の対証 る正 試法き で本の手をよ、定務務に価差を 値し、験 / 3。	追回	認試験の結果、 章手続き、およって理解。 ついて理解金・しいで理解金・しいでは、 ・型理解とは、しいでは、 ・型型が関係である。	単位の修得が認めら で財務諸表について 、正しく処理ができる。 は生いができる。 は生いができる。 ならびに売」 く仕訳ができる。 正しく処理ができる。 正しく処理ができる。 正しく処理ができる。 正しく処理ができる。 正しく処理ができる。	
受業計画		のである。 評価が60 れた者 週 1週 2週 3週 4週 6週 6週 7週 8週 9週 回 10週 同 11週 画 画 画 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	点に満たないもの では、その評価 業内容 イタンス ・金預金 金預金 権債務 卸資産 価証券 価証券 間試験 定資産 務保証	Dは、願い出により	追認試験を受ける価方法及び評価基	こ準 週日の現。 銀債債商原有。 異理 中定が無いで本 の手をよ 定権権品価価値 なが間率で形でで表 勘債債の対証 る正試法き固正でまる にが 無いてが 無いてが 無いてが 無いてが 無いてが 無いて はいま ない にばえき 極く といる こく	る験   達認   落   2   2   2   2   2   2   2   2   2	認試験の結果、 章手続き、およって理解。 ついて理解金・しいで理解金・しいでは、 ・型理解とは、しいでは、 ・型型が関係である。	単位の修得が認めら で対務諸表について 、正しく処理ができる。 諸業外手形,電子記録 仕訳ができる。 かいて,ならびに売上 く仕訳ができる。 正しく処理ができる。 正しく処理ができる。 正しく処理ができる。 正しく処理ができる。 正しく処理ができる。	
受業計画	1stQ	のである。 評価が60 れた者 週 1週 2週 3週 4週 6週 6週 7週 8週 9週 回 10週 同 11週 画 画 画 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	点に満たないものでは、その評価 業内容 イダンスの手続き 金預金 金預金 権債務 卸資産 価証券 個証券 間試験 定資産	Dは、願い出により	追認試験を受ける価方法及び評価基	こ準 週日の現。銀債債商原有。異理中定が無い債引め、との解お 勘債債の対証 る正試法き固正保金で本の手をよ 定務務評証券 価し験 える定し証のの まなり ひまり には のです しんしょう こくしん いんしょう こくしん いんしん こくりょう かんしん いんしん いんしん いんしん いんしん いんしん いんしん いんしん	る験   達認   預整 クロおに 保 で で の 0 産処会 計	認試験のる。 章手続き ,	単位の修得が認められている。 にび財務諸表について、正しく処理ができる。 は業外手形,電子記録できる。 は、仕訳ができる。 にしく処理ができる。 正しく処理ができる。 正しく処理ができる。 正しく処理ができる。 にしく処理ができる。 にしく処理ができる。 にしく処理ができる。 にしく処理ができる。	
受業計區		のである。 評価が60 れた者 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 10週 11週 11週 11週 12週 31 10週 11週 11週 11週 11週 11週	点に満たないもの では、その評価 業内容 イタンス ・金預金 金預金 権債務 卸資産 価証券 価証券 間試験 定資産 務保証	Dは、願い出により	追認試験を受ける価方法及び評価基	こ準 週日の現。銀債債商原有。異理中定が無い債引収価とは、ご々理金、行権権品価価はが間率で形て務当益のが、との解お、勘債債の対証、る正試法き固正保金と会で本、の手をよ、定務務評立券価し験、る定し証の費計が、 個法を 格く 2。資くの会 用処	る験   達き認う   整クつおに保 でで 00 産処会計の理   20 計の理   20	認試験のる。 章: ついいて売解・ で理掛し割し区 合 ・	単位の修得が認められていて、正しく処理ができる。 ま業外手形、電子記録できる。 は業外手形できる。 は、一次ではいていて、ないで、ないで、ないで、ないできる。 このいて、なができる。 正しく処理ができる。 正しく処理ができる。 このいて、なができる。 このいて、なができる。 このいて、なができる。 このいて、なができる。 このいて、なができる。 このいて、なができる。 このは、ないできる。 このは、ないできる。 このは、ないできる。	
	1stQ	のである。 評価が60 れた者 週 1週 類 3週 現 4週 債 5週 棚 6週 有 7週 有 8週 中 9週 固 10週 固 11週 債 12週 引 13週 収 14週 為	点には、その評価 業内容 イ記一額金 金預金 を預金 を積り を積り をできる。 をでをできる。 をできる。 をでをできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をで。	Dは、願い出により	追認試験を受ける価方法及び評価基	こ準 週日の現。銀債債商原有。異理中定が無い債引収価外でとは、ご々理金 行権権品価価 なが間率で形て務当益の貨きが、との解お 勘債債の対証 る正試法き固正保金と会建るで本 の手をよ 定務務評立券 価し験 える定し証の費計取。き試 至 64 で 2 。 64 で 6 会	る験   達き認う   整クつおに保 でで 00 産処会計の理   20 計の理   20	認試験のる。 章: ついいて売解・ で理掛し割し区 合 ・	単位の修得が認めら でが財務諸表について してしく処理ができる。 は全別できる。 は全別ができる。 は代訳ができる。 ではいて、ならびに売し、 なけれができる。 でしく処理ができる。 ではいて、ならびに売し、 ないて、ならびに売し、 ないて、ならびに売し、 ないできる。 では、 ないできる。 では、 ないできる。 では、 ないできる。 では、 ないできる。 では、 ないできる。 では、 ないできる。 では、 ないできる。 では、 ないできる。 では、 ないできる。 では、 ないできる。 では、 ないできる。 では、 ないできる。 では、 ないできる。 では、 ないできる。 では、 ないできる。 では、 ないできる。 できる。 ないでは、 ないできる。 では、 ないできる。 では、 ないできる。 ないできる。 ないでは、 ないできる。 ないできる。 ないできる。 ないでは、 ないできる。 ないでは、 ないできる。 ないできる。 ないでは、 ないできる。 ないでは、 ないできる。 ないでは、 ないできる。 ないでは、 ないできる。 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないできる。 ないでは、 ないなななななななななななななななななななななななななななななな	
受業計區	1stQ	のである。 評価が60 れた者 週	点に満たないもの では、その評価 業内容 イダンス ・金預金 金預金 権債務 卸資産 価証券 間試験 定資産 務保証 当金	Dは、願い出により	追認試験を受ける価方法及び評価基	こ準 週日の現。銀債債商原有。異理中定が無い債引収価外が、との解お 勘債債の対証 る正試法き 固正保金と会建で本、の手をよ、定務務評立券 価し験、る定し証の費計取の手をよ、定務務評立券 権し験、る定し証の費計取	る験   達き認う   整クつおに保 でで 00 産処会計の理   20 計の理   20	認試験のる。 章: ついいて売解・ で理掛し割し区 合 ・	単位の修得が認められている。 にび財務諸表についてきる。 にしく処理ができる。 は業外手形,電子記録 は代訳ができる。 かいて,ならびに売」 なく仕訳ができる。 正しく処理ができる。 正しく処理ができる。 でしく処理ができる。 でしく処理ができる。 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないできる。	
受業計画	1stQ	ので評価が60 れた者 週 1週 授 1週 現 1週 現 4週 現 債 5週 棚 6週 有 7週 有 8週 中 9週	点に満たないもの 京には、その評価 業内容 イ記一	Dは、願い出により	追認試験を受ける価方法及び評価基	こ準 週日の現。銀債債商原有。異理中定が無い債引収価外で期とは、ご々理金、行権権品価価、なが間率で形て務当益の貨き末が,との解お、勘債債の対証、る正試法き固正保金と会建る試で本、の手をよ、定務務評立券 価し験,る定し証の費計取。験き試、至6緒の、調がに値法を、格く、2。資くの会用処引	る験   達き認う   整クつおに保 でで 00 産処会計の理   20 計の理   20	認試験のる。 章: ついいて売解・ で理掛し割し区 合 ・	単位の修得が認められている。 にび財務諸表についてきる。 にしく処理ができる。 は業外手形,電子記録 は代訳ができる。 にしく処理ができる。 にしく処理ができる。 にしく処理ができる。 にしく処理ができる。 にしく処理ができる。 にしく処理ができる。 にしく処理ができる。 にしく処理ができる。 にしく処理ができる。 にしく処理ができる。 にの、ならびに売」。 には、の、ならびに売」。 には、の、ならびに売」。 には、の、ならびに売」。 には、の、できる。	
受業計画が期	1stQ 2ndQ	ので評価が60 れた者 週 1週 授 1週 現 1週 現 4週 現 債 5週 棚 6週 有 7週 有 8週 中 9週	点では、不の評価 業内容 イ記 金 金 番 積 第 金 金 番 積 資 証 券 個 証 数 産 産 で 務 金 を 費 日 証 数 で で 務 金 を 費 目 会 を 費 目 会 を 費 まま 式 内容 と 到達 で で の で と 到達 を で の か で と 到達 を か で と 到達 を か で と 到達 を か で と り き か で と と り を か で と り き か で と り き か で と り き か で と り き か で と り き か で と り き か で と り き か で と り き か で と り き か で と り き か で と り き か で と り き か で と り を か で と り を と り を か で と り を か で と り を か で と り を か で と り を と と り を か で と と り を か で と と り を か で と と り を と と と と と と と と と と と と と と と と	Dは、願い出により	追認試験を受ける価方法及び評価基	こ準 週日の現。銀債債商原有。異理中定が無い債引収価外で期とは、ご々理金、行権権品価価、なが間率で形て務当益の貨き末が,との解お、勘債債の対証、る正試法き固正保金と会建る試で本、の手をよ、定務務評立券 価し験,る定し証の費計取。験き試、至6緒の、調がに値法を、格く、2。資くの会用処引	る験   達き認う   整クつおに保 でで 00 産処会計の理   20 計の理   20	認試します。	単位の修得が認められている。 にび財務諸表についてきる。 にしく処理ができる。 は業外手形,電子記録 は代訳ができる。 かいて,ならびに売」 なく仕訳ができる。 正しく処理ができる。 正しく処理ができる。 でしく処理ができる。 でしく処理ができる。 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないて,ならびに売」 ないできる。	
受業計画	1stQ 2ndQ	ので評価にあった。 ので評価にあった。 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 13週 11週 13週 11週 13週 11週 13週 113週 113	点では、不の評価 業内容 イ記 金 金 種 資 証 券 の 面 証 数 を の 面 で で の で で で で で で で で で で で で で で で	Dは、願い出により iを60点とする。評	追認試験を受ける価方法及び評価基	こ準 週日の現。銀債債商原有。異理中定が無い債引収価外で期とは、ご々理金、行権権品価価、なが間率で形て務当益の貨き末が,との解お、勘債債の対証、る正試法き固正保金と会建る試で本、の手をよ、定務務評立券 価し験,る定し証の費計取。験き試、至6緒の、調がに値法を、格く、2。資くの会用処引	る験   達き認う   整 クつおに 保 でで 00 産処会計の理と。と 目とす 金 表 レいよつ 有 購き % 乗計処区を 為 10 運	認試します。	単位の修得が認めら で対務諸表について して処理ができる。 は無外手形、電子記録 はは訳ができる。 は代訳ができる。 ではいて、ならできる。 正しく処理ができる。 正しく処理ができる。 正しく処理ができる。 正しく処理ができる。 では、の、ないできる。 では、の、ないできる。 なの、の資産につきる。 は、の、のできる。 にして、ないできる。 は、の、のできる。 にして、ないできる。 にして、たいできる。 にして、たいできる。 にして、たいできる。 にして、たいできる。 にして、たいできる。 にして、たいできる。 にして、たいできる。 にして、たいできる。 にして、たいできる。 にして、たいできる。 にして、たいできる。 にして、たいで、たいで、たいで、たいで、たいで、たいで、たいで、たいで、たいで、たいで	

基礎的能力	40	0	0	0	0	15	55
専門的能力	30	0	0	0	0	15	45
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0